



うさぎ新聞

2013(平成 25)年 7 月発行

院長からひとこと

今年は例年よりかなり早く梅雨が明け、猛暑日が続いております。暑さのせいで体調を崩されていらっしゃるのでしょうか。今年はお子様の間で手足口病が流行しております。のどの痛み、発熱からから、飲水量が不足して、脱水になることがあります。ご注意ください。また、暑さもあり、エアコンをかけたまま寝ることでのどの痛みを訴える患者様も多くなってきております。楽しい夏休みをお過ごしいただけますよう体調管理にお気をつけください。

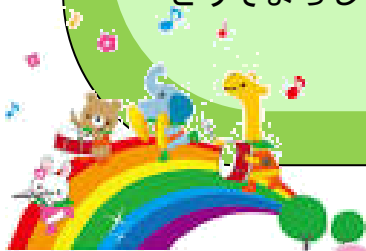
さて今回、せんえつながら当院のミニコミ誌を発行することと致しましたのは、お子様や保護者の方に当院の診療内容や治療方針、今流行っている感染症やあきる野市で行なっているお子様に対する健康事業などの情報を噛み砕きつつ、分かりやすく、タイムリーにお届けするのが目的です。

日々健康にまつわる情報は氾濫しており、何が正しいのかよく判断できないことがあります。古びていないフレッシュな情報を的確にお届けすることも大変重要な事と思います。

より皆様にご活用いただけるよう当院ホームページと共に役に立つ機関紙にしていこうと考えております。当面年四回の季刊誌を予定しております。

どうぞよろしく願いいたします。

医療法人社団 みやびの会 理事長 小林雅史



朱先生より

<熱性けいれんについて>



● 熱性けいれんは 38℃以上の発熱があり、ひきつけ（意識がなくなり、顔色がわるく、白目をむいたり、手足をばたばた、ぴくぴくさせます）を起こします。

● 脳炎や髄膜炎によるものではないことを確かめます。

原因はまだよく分かっていませんが、その特徴は

● 遺伝的な傾向があります。

● ひきつけを起こしやすい年齢があります（10ヶ月～3才）。

● かぜで熱が出たときに多く起こります。

ひきつけの時間は

● 5分以内が多く、10分以内が90%を占めます。

ひきつけの回数

● ひきつけた子どもが100人いると

2回ひきつける子どもは50人 3回ひきつける子どもは10人 4回ひきつける子どもは1人です。

（2回目のひきつけはほとんど1年以内に起こり、4回以上起こす子どもは大変少ないです）

ひきつけを起こしたら

● 息の通り道を確認します。強引に口に物を詰め込まないようにします。

● 食べ物を吐いたら、気管に吸い込まれないように顔を横に向けて、吐いたものを外に出します。

● 着ているものをゆるめて5分間様子を見ます。

● ひきつけが5分を超えても続いたら救急車を呼びます。

● 体半分が強いひきつけを起こしているときは、すぐ救急車を呼びます。

予防

● （かかりつけの医師と相談の上）ひきつけを起こしそうなとき、熱が出たとき（ひきつけ止めの薬）があれば使います。

治療は

● ひきつけを起こしているときはひきつけ止めの薬を使います。

将来は

● ほとんどは小学校の入学前に自然に治ります。

● 一部の子どもはてんかんがはっきりしてくる場合がありますが（10%以内）、てんかんの治療をすれば心配ありません。



+ ナースからの お母さんに伝えたいホームケア +

今回は病気の時のお風呂についてお話します。

✿熱があるとき

熱が高くて辛そうな時は、お風呂は控えましょう。

熱が一時下がった時に汗をさっと洗い流してあげると気持ちがいいでしょう。



✿咳や鼻水が出ているとき

顔色がよく、食欲や元気もある場合は、咳や鼻水が出ていても、お風呂に入っても良いでしょう。

✿お風呂と新陳代謝

咳や鼻水が続くからと何日もお風呂に入らないのは、アカがたまり皮膚の呼吸によくありません。新陳代謝を刺激したり寝つきをよくしたりするなどの効果がありますから、なるべく入れてあげましょう。

✿お風呂に入れない場合は

皮膚の清潔を保つよう心掛けます。汗をかいたら固くしぼった暖かいタオルで拭くのも良いでしょう。特におしりは、汚れや蒸れた状態が続くと尿路感染症やおむつかぶれの原因になってしまいます。かぶれてしまったら、汚れた後は拭きとりお湯か水を浸した脱脂綿でもう一度きれいに拭き取ります。おしりだけでも石けんでよく洗い乾かした後、必要であれば軟膏を塗ります。

軟膏を塗った上にパウダーを使うのは、かえって悪化させることがあるので避けましょう。



病気の症状でお風呂に入った方が良いかどうかご心配な時はご相談して下さい。



事務より

現在、都内で**風しんの流行**が継続しているため、先天性風しん症候群の発生防止を目的として、対象の方が風しんの予防接種を受ける場合に、接種費用をあきる野市が助成します。

助成対象者は、市内に住所を有し、先天性風しん症候群の予防を目的として

風しんの予防接種を希望する満19歳以上の者で、次のいずれかに該当する方

- ・妊娠を予定又は希望している女性 平成25年5月1日から平成26年3月31日まで
- ・妊娠している女性の夫 平成25年5月1日から平成25年9月30日まで

※ただし、風しんにかかったことがなく風しんの予防接種を受けたことがない方

接種費用助成額は麻しん風しん混合ワクチンは5,000円 風しんワクチンは3,000円

ですので、自己負担額は当院では麻しん風しん混合ワクチンが3,400円、風しんワクチンが2,250円となります。

ただし、風しんワクチンは現在供給不足となっておりますので、お急ぎの方には麻しん風しんワクチンを勧めております。



ホームページは <http://kobayashi-naika-shounika-clinic.com>

当日の診察順番予約はアイチケット <http://paa.jp/t/2130/>



予防接種予約は <http://www.0425182088.com/i/>

〒197-0802 あきる野市草花 1439-9

TEL 042-518-2088

医療法人社団 みやびの会 こばやし内科小児科クリニック

